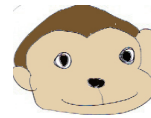


# ゆう☆さぽ通信



2013年7月  
NO.10

〒610-0117 京都府城陽市枇杷庄島ノ宮80-127  
TEL/FAX 0774(26)3007  
E-mail yusapo@me.com

ゆう・さぽーと <http://yusupport.jimdo.com/>  
そらいろブログ <http://sorahelp.exblog.jp/>

ヘルパーステーションそらいろの二年目が始まり3ヶ月が過ぎました。利用者は30名を超え、定期的な利用の方も増え、支援業務は落ち着いてきました。スタッフ体制も安定したものとなり、今年度は良いスタートを切る事ができています。



ヘルパーステーションそらいろの二年目が始まり3ヶ月が過ぎました。利用者は30名を超え、定期的な利用の方も増え、支援業務は落ち着いてきました。スタッフ体制も安定したものとなり、今年度は良いスタートを切る事ができています。



## そらいろの誓い

二年目



の評価・反省に基づき、二年目の事業計画を立てさせていただき、4月に今年度の方針や事業活動を確認するための会議を行いました。

二年目の方針は『支援力アップ』です。そらいろが行う居宅介護等のヘルパー支援をより良いものにしていくという目標です。支援力アップのために立てた具体的な年間目標は次にあげる3点です。①職員研修計画を立て、スタッフのスキルアップを目指す。②スタッフ間の情報共有を深める。③現状の利用者について知る。この年間目標に基づいて、今年度は人材育成等に力を入れていく予定にしています。

## スキルアップ

そらいろの支援業務を担うのはヘルパー一人一人になります。ヘルパー業務は基本的にマンツーマンの個別対応になりますので、ヘルパー個人の能力(知識・技術等)が大きく影響します。利用者さんの障がい特性や健康面等を考慮した適切な対応を行う事ができるよう、事業所内での勉強会開催や外部での研修会等への参加などに力を入れます。自閉症の障がい特性について学ぶ研修会、医療的ケアについて学ぶ研修会、リハビリ方法等と学ぶ機会等、利用者支援にとって必要な知識・技術を学ぶ機会を作ります。

## 情報共有

ヘルパーの現場業務はマンツーマン対応ですが、支援全体は複数のヘルパーのチームで行う事が多くあります。チームで支援を行うという意識をスタッフが持ち、支援に必要な情報を担当スタッフ全員で共通理解できるようにしていきます。定例のヘルパー会議において情報を共有する時間を設けることや、日々の連絡を密にする事等に力を入れて行きます。

## 利用者を知る

利用者個人について、もっと知るために利用者さんの関係機関への見学などを行います。学齢期の方なら支援学校等への見学、成人の方なら福祉施設等への見学を行い、ヘルパー支援時以外での利用者さんの様子を知る事で、幅広い本人理解ができるのではないかと考えています。6月に宇治支援学校へ見学に行き、利用者さんの授業風景等を見る事ができました。教室の様子や教育の取り組み等を実際に見る事は、大変勉強になりました。



楽しい時間を共有できるように自己研鑽に努めます。

以上の3点を中心に今年度の事業を行います。二年目に支援力を培い、三年目に大きな花を咲かす事ができれば幸いです。

(理事長 中野裕介)